

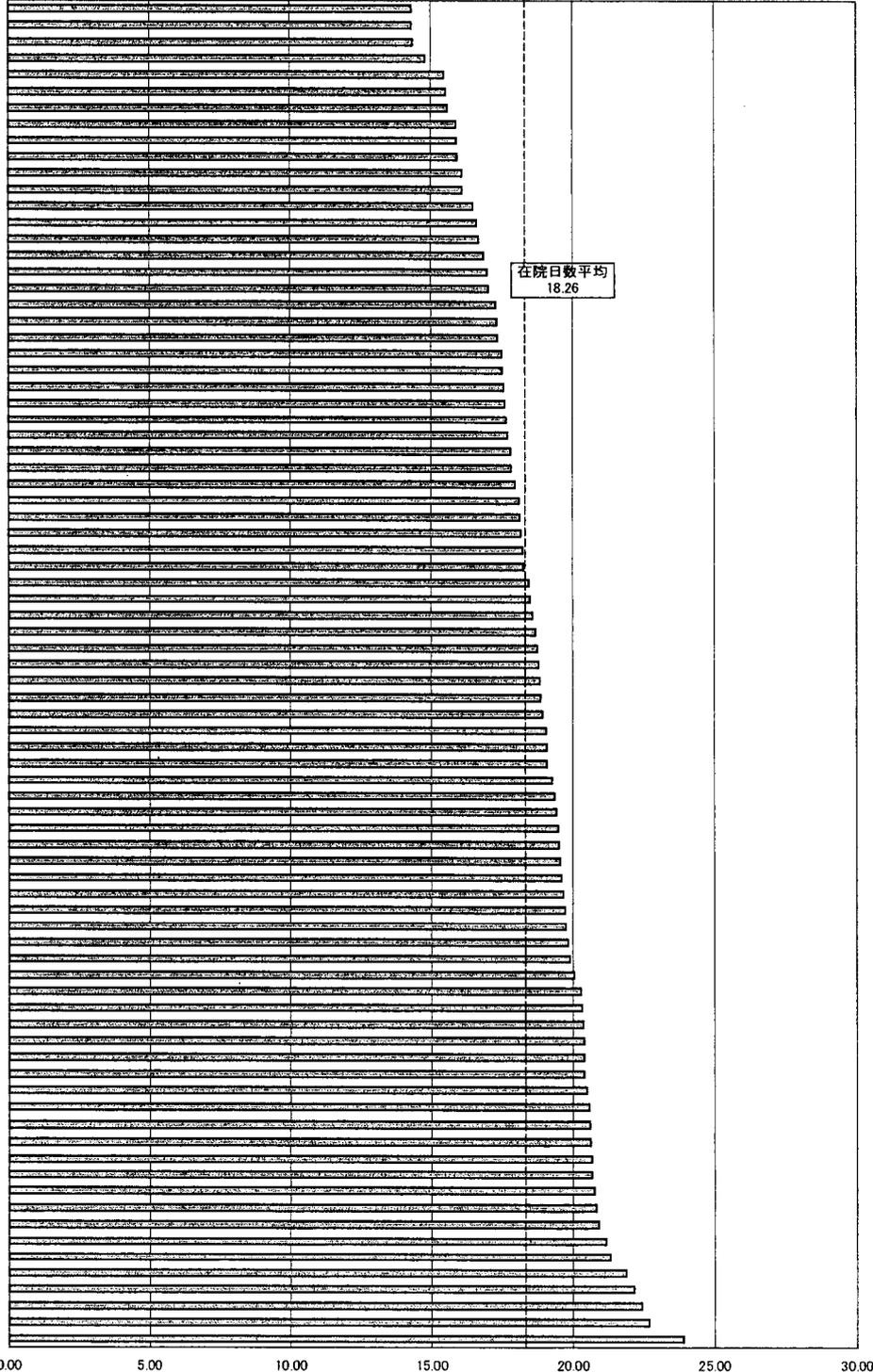
在院日数の状況

参考

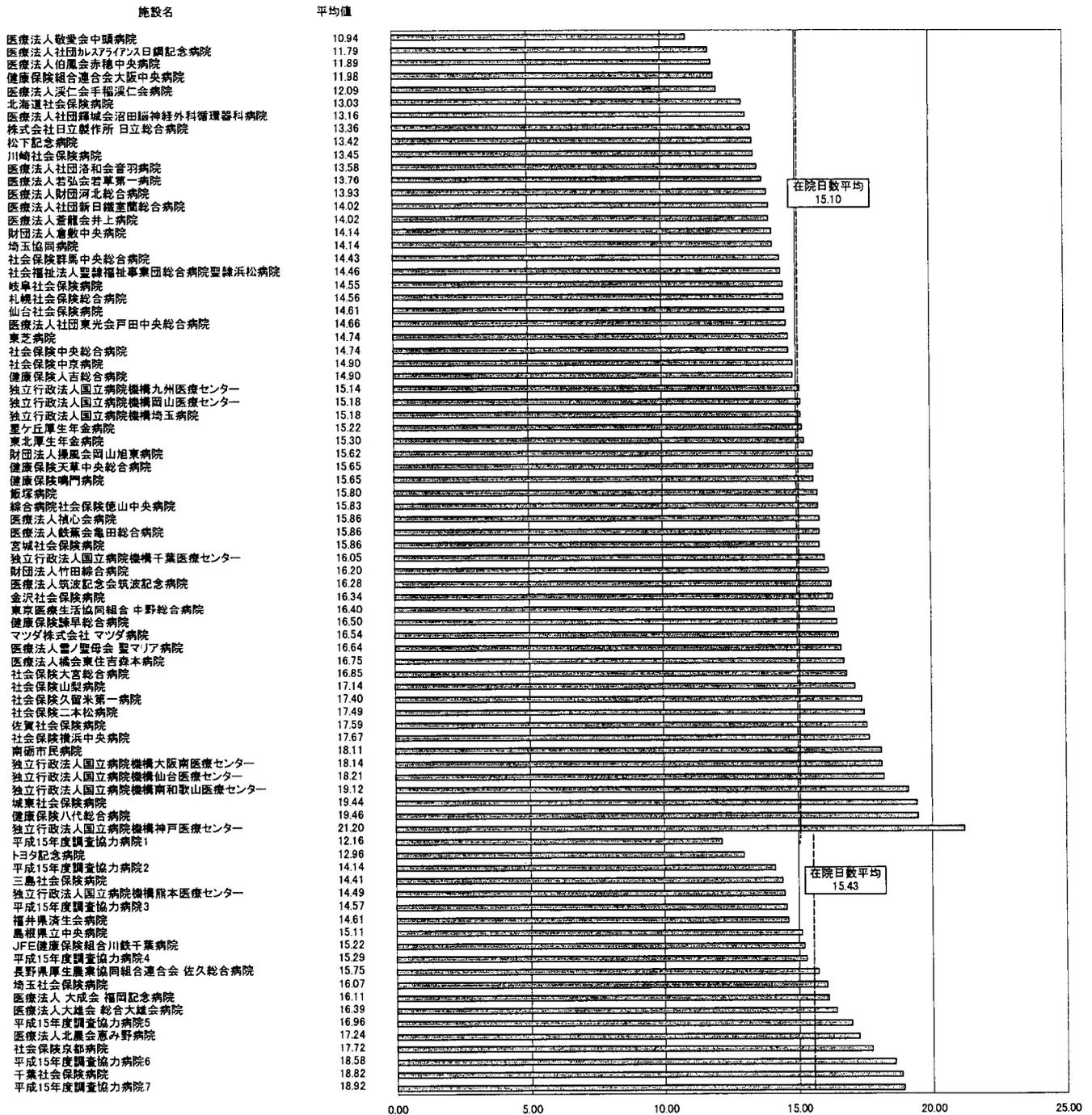
	在院日数の平均
DPC対象病院	18.26日
試行的適用病院	15.10日
DPC調査協力病院	15.46日
平成15年度からの調査参加病院	15.43日
平成16年度からの調査参加病院	15.15日
平成17年度からの調査参加病院	15.89日

(平成17年 DPC対象病院)

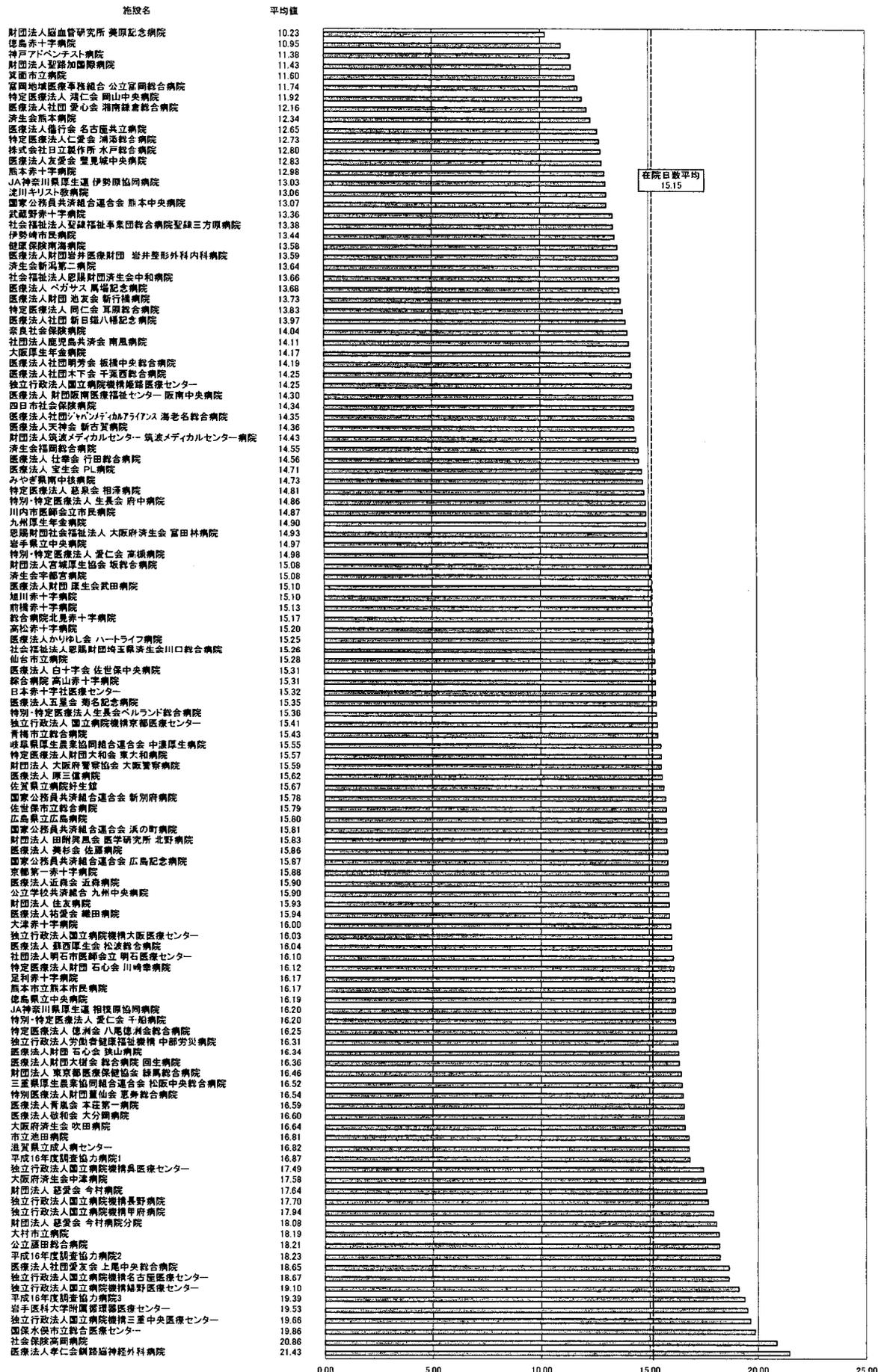
施設名	平均値
東海大学医学部付属病院	14.30
国立がんセンター中央病院	14.31
慶應義塾大学病院	14.35
順天堂大学医学部附属順天堂医院	14.81
北里大学病院	15.47
東京慈恵会医科大学附属病院	15.52
愛知医科大学病院	15.60
自治医科大学附属病院	15.89
東京医科歯科大学医学部附属病院	15.91
近畿大学医学部附属病院	15.95
杏林大学医学部付属病院	16.11
東京医科大学病院	16.12
埼玉医科大学病院	16.49
東京女子医科大学病院	16.63
岐阜大学医学部附属病院	16.69
横浜市立大学附属病院	16.86
防衛医科大学校病院	16.99
東京大学医学部附属病院	17.04
日本大学医学部附属板橋病院	17.29
福岡大学病院	17.34
東邦大学医療センター大森病院	17.37
岡山大学医学部・歯学部附属病院	17.51
滋賀医科大学医学部附属病院	17.52
浜松医科大学医学部附属病院	17.57
聖マリアンナ医科大学病院	17.63
群馬大学医学部附属病院	17.65
千葉大学医学部附属病院	17.70
川崎医科大学附属病院	17.80
兵庫医科大学病院	17.82
昭和大学病院	17.98
獨協医科大学病院	18.10
名古屋大学医学部附属病院	18.13
山口大学医学部附属病院	18.17
岩手医科大学附属病院	18.24
京都府立医科大学附属病院	18.26
鳥根大学医学部附属病院	18.44
広島大学病院	18.50
信州大学医学部附属病院	18.58
大阪医科大学附属病院	18.69
新潟大学医学部総合病院	18.75
山梨大学医学部附属病院	18.80
大分大学医学部附属病院	18.84
関西医科大学附属枚方病院	18.87
鳥取大学医学部附属病院	18.93
三重大学医学部附属病院	19.05
香川大学医学部附属病院	19.07
藤田保健衛生大学病院	19.08
帝京大学医学部附属病院	19.28
産業医科大学病院	19.35
札幌医科大学附属病院	19.43
福島県立医科大学附属病院	19.48
和歌山県立医科大学附属病院	19.51
大阪大学医学部附属病院	19.55
旭川医科大学病院	19.58
佐賀大学医学部附属病院	19.65
金沢医科大学病院	19.72
大阪市立大学医学部附属病院	19.73
弘前大学医学部附属病院	19.83
名古屋市立大学病院	19.90
筑波大学附属病院	20.05
熊本大学医学部附属病院	20.28
九州大学病院	20.32
愛媛大学医学部附属病院	20.38
奈良県立医科大学附属病院	20.38
日本医科大学付属病院	20.38
琉球大学医学部附属病院	20.39
山形大学医学部附属病院	20.50
神戸大学医学部附属病院	20.59
北海道大学病院	20.61
金沢大学医学部附属病院	20.61
京都大学医学部附属病院	20.66
久留米大学病院	20.66
徳島大学病院	20.75
国立循環器病センター	20.81
高知大学医学部附属病院	20.91
福井大学医学部附属病院	21.15
富山大学附属病院	21.30
秋田大学医学部附属病院	21.87
長崎大学医学部・歯学部附属病院	22.15
東北大学医学部附属病院	22.44
宮崎大学医学部附属病院	22.69
鹿児島大学病院	23.89



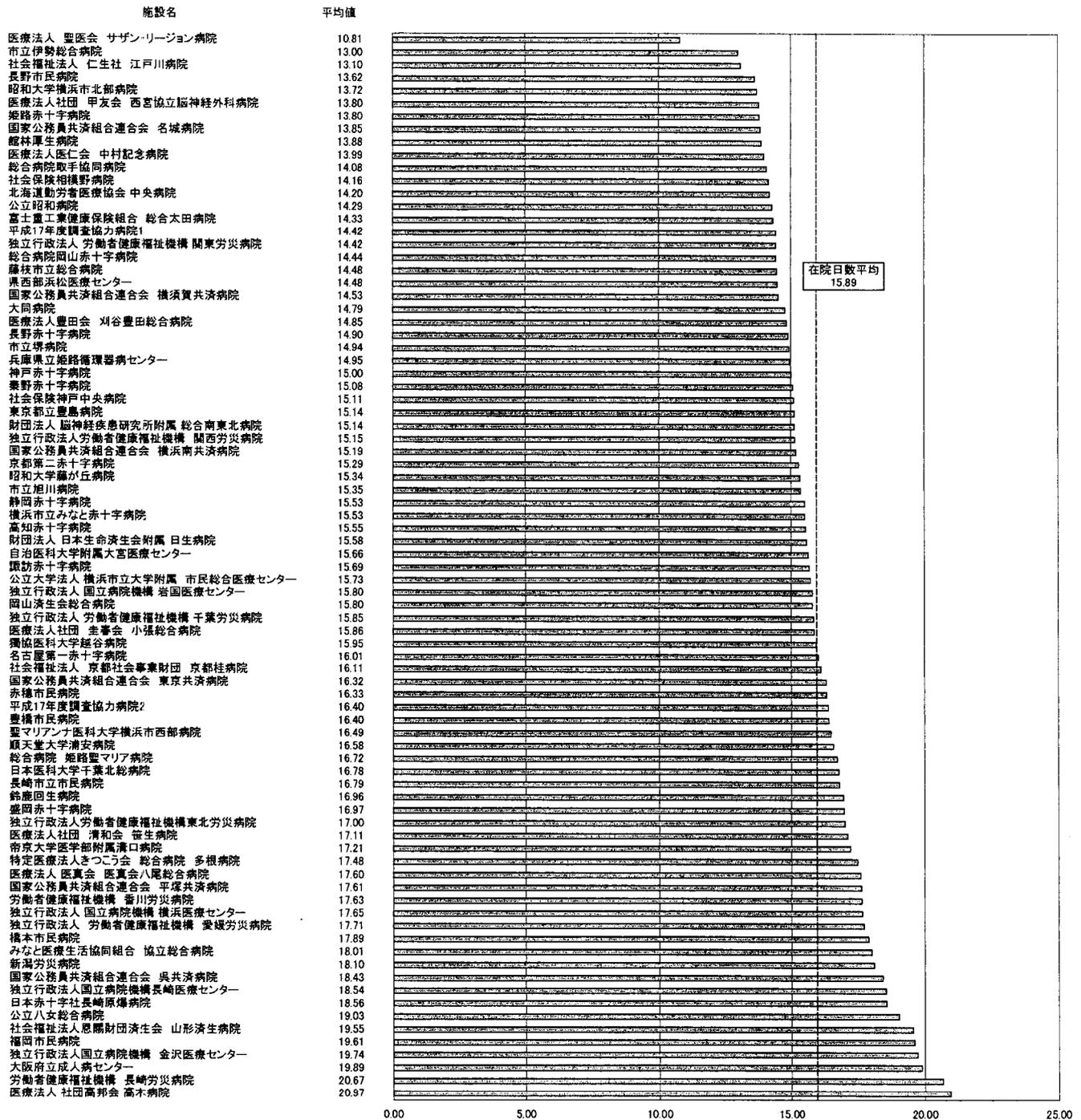
在院日数の状況
 (平成17年 DPC試行的適用病院、平成15年度からの調査参加病院)



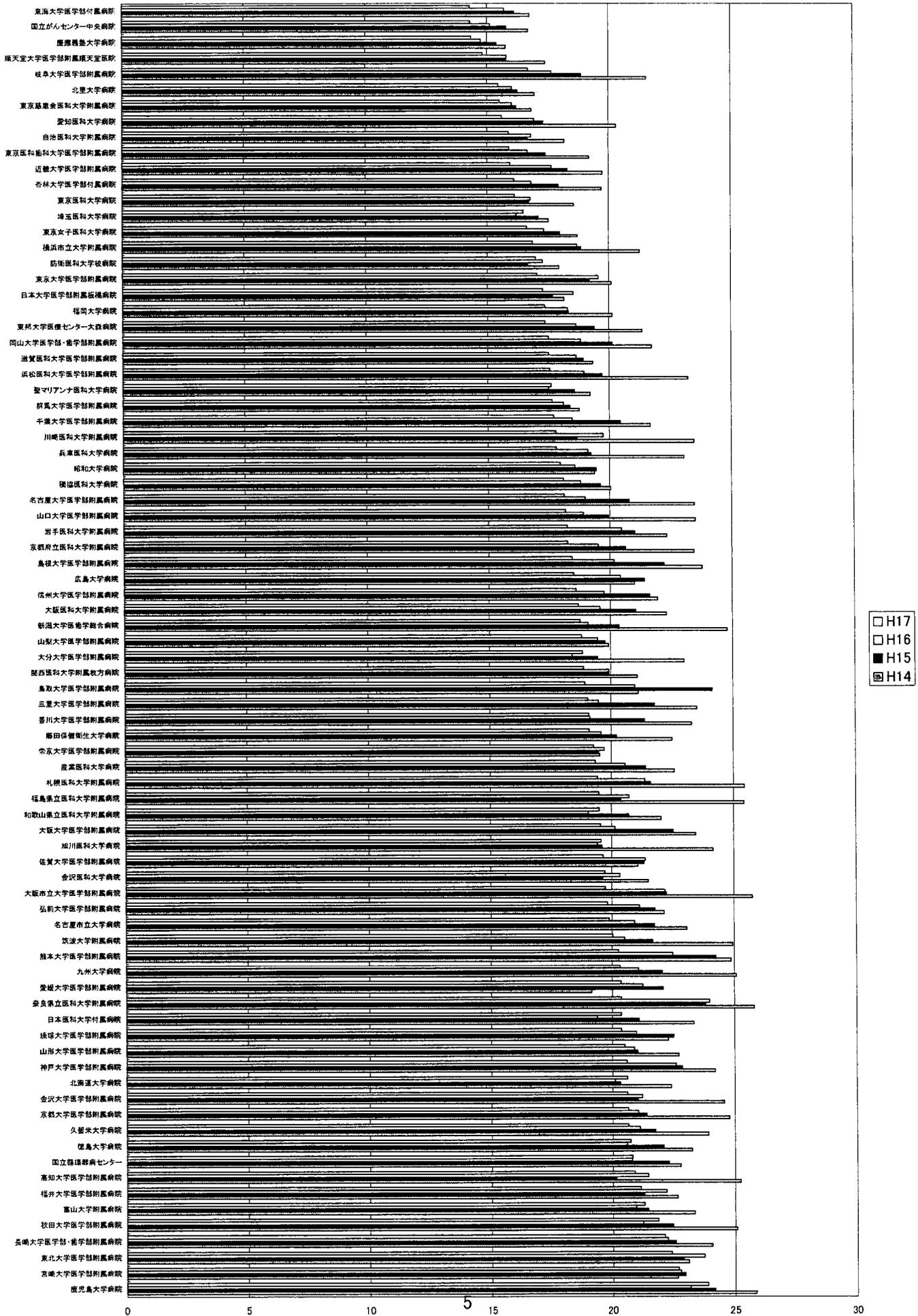
在院日数の状況
(平成17年 平成16年度からの調査参加病院)



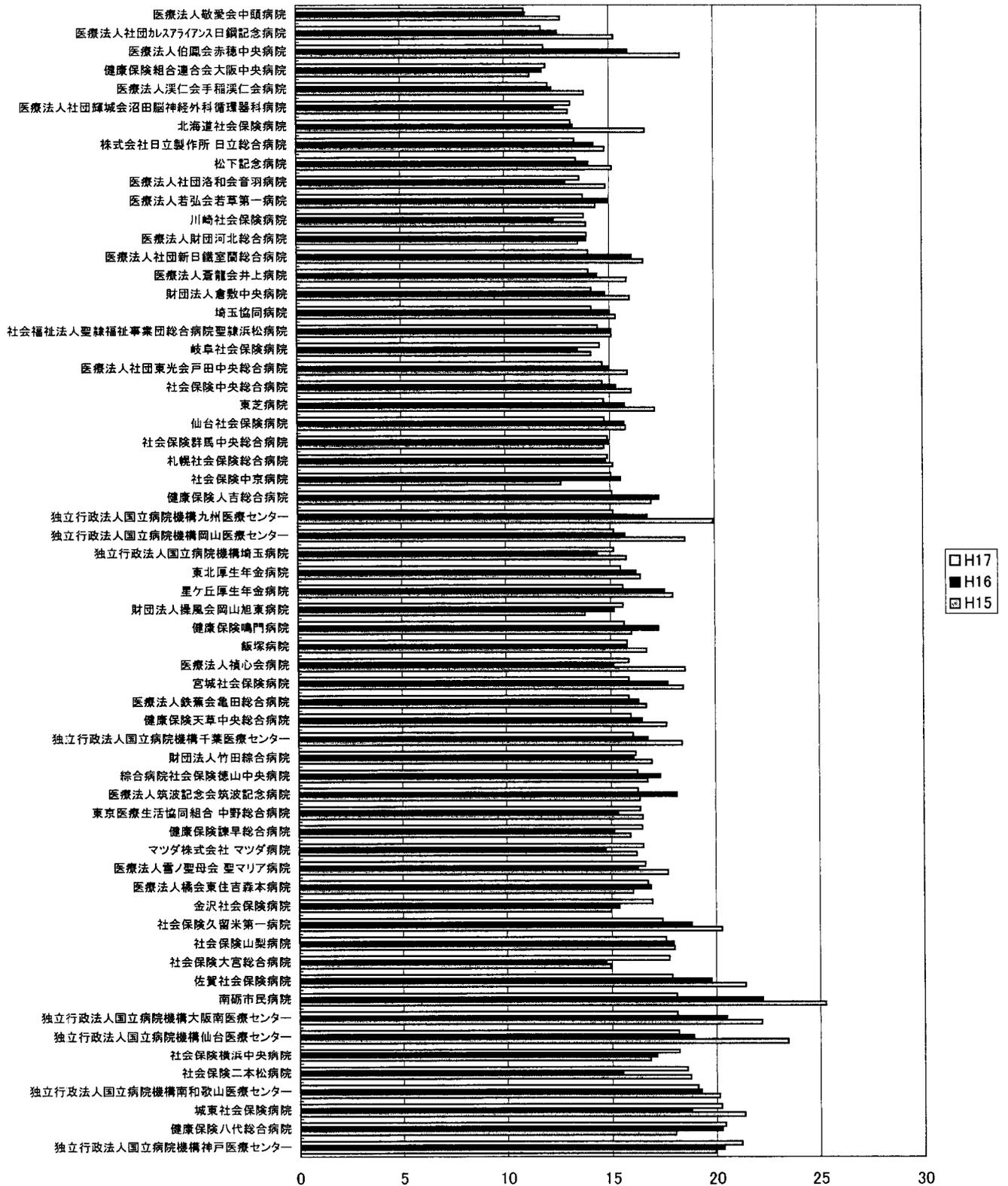
在院日数の状況
(平成17年 平成17年度からの調査参加病院)



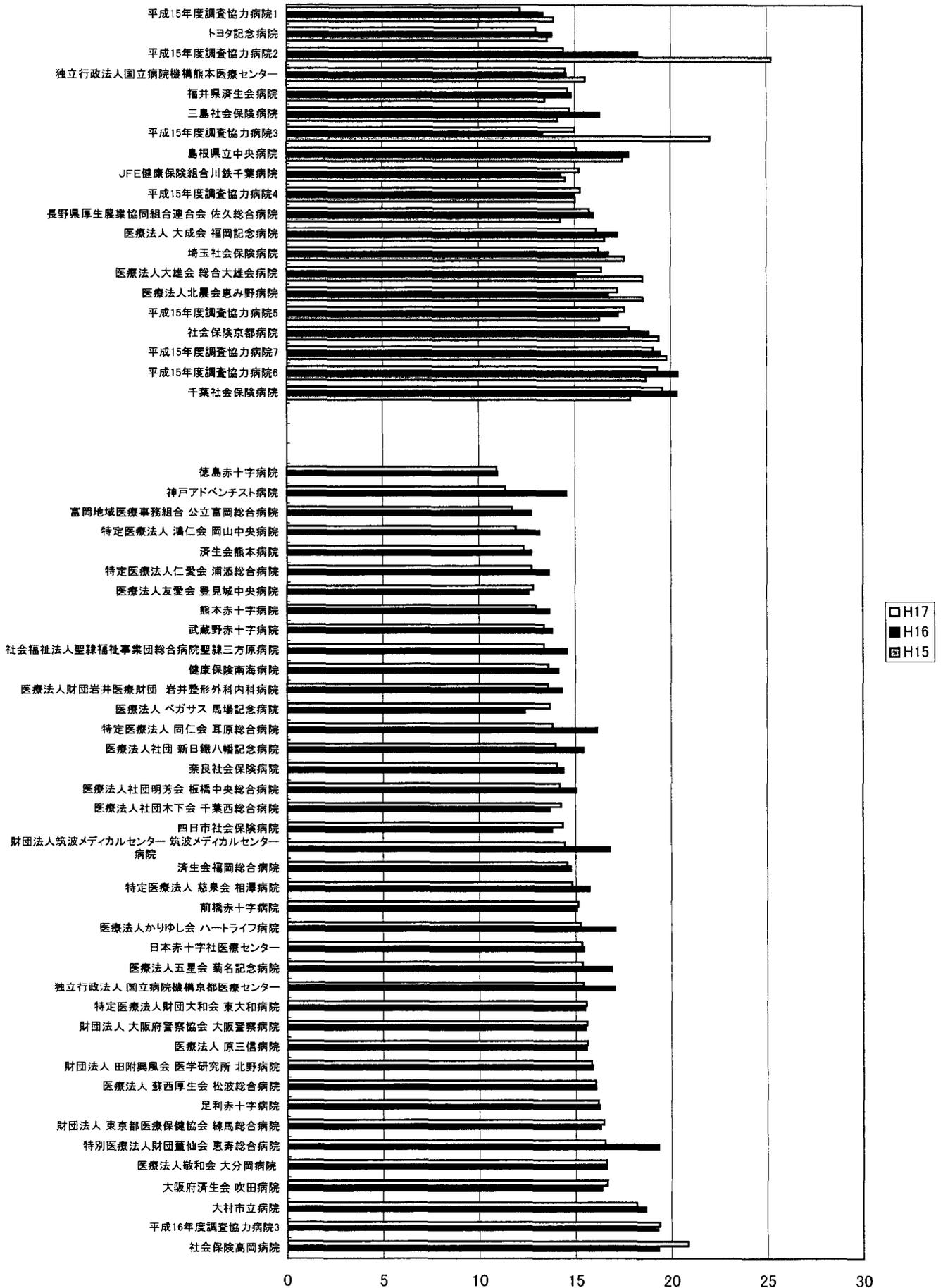
DPC対象病院の在院日数の年次推移



DPC試行的適用病院の在院日数の年次推移



DPC調査協力病院の在院日数の年次推移



在院日数の平均の差に関する検討について

在院日数の平均の差の理由の検討方法について

- 今回用いた在院日数の平均の差の理由の検討方法について、平均在院日数が2日短縮された事例で説明すると以下のとおり。

(事例に関する前提条件)

- 平成16年から平成17年にかけてDPC別の在院日数が減少している。
 一方で、平成16年から平成17年にかけて、在院日数の長い診断群分類に該当した件数が増加している。
- 在院日数の平均の30日から28日の現象は、二つの要素(DPC毎の在院日数の変化とDPC毎の患者数の変化)の影響を受けている。

DPC	平成16年		平成17年		平均在院日数の変化	件数の変化(件)
	件数	在院日数(平均)	件数	在院日数(平均)		
0100101xxxxxx	5	20.0	2	15.0	-5	-3
0100103099x00x	4	30.0	3	20.0	-10	-1
0100103099x01x	3	40.0	5	30.0	-10	2
0100103099x10x	2	50.0	4	40.0	-10	2
0100103099x11x	1	10.0	1	20.0	10	0
合計	15	30.0	15	28.0	-2	0
				平均の差	-2.0	

(在院日数の平均の変化による要因)

- DPC毎の患者数の構成を平成16年にそろえると、平成16年から平成17年の各DPCの在院日数の平均の変化による影響のみが評価できる。
- 下の例では、各DPCの平均在院日数の変化による合計平均在院日数の変化を評価すると、-7日である。

DPC	平成16年		平成17年		
	件数	在院日数(平均)	件数	在院日数(平均)	
0100101xxxxxx	5	20.0	5	15.0	
0100103099x00x	4	30.0	4	20.0	
0100103099x01x	3	40.0	3	30.0	
0100103099x10x	2	50.0	2	40.0	
0100103099x11x	1	10.0	1	20.0	
合計	15	30.0	15	23.0	
				平均の差	-7.0

(DPC毎の患者数の構成の変化による影響)

- DPC毎の在院日数の平均を平成16年にそろえると、平成16年から平成17年のDPC毎の患者数の構成の変化による影響のみが評価できる。
- 下記の例では、DPC毎の患者数の構成の変化による影響は、+6日である。

DPC	平成16年		平成17年		
	件数	在院日数(平均)	件数	在院日数(平均)	
0100101xxxxxx	5	20.0	2	20.0	
0100103099x00x	4	30.0	3	30.0	
0100103099x01x	3	40.0	5	40.0	
0100103099x10x	2	50.0	4	50.0	
0100103099x11x	1	10.0	1	10.0	
合計	15	30.0	15	36.0	
				平均の差	6.0